

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立紫波東小学校【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成①

本校で作成した情報活用能力体系表とチェック表

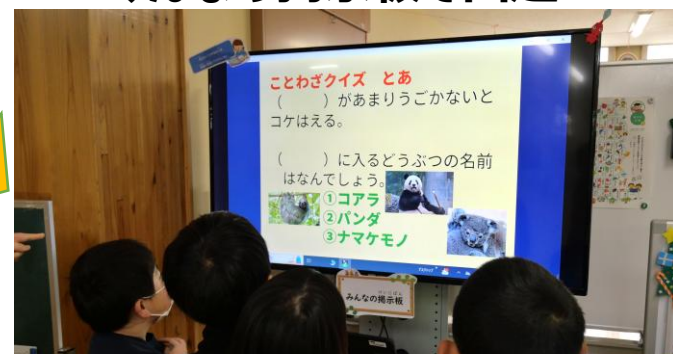
小学校1年生「ソフトを使ってお絵描き」

情報活用能力体系表

学習内容	(小) 低学年	(小) 中学年	(小) 高学年・(中) 1年生	(中) 2, 3年生
1. 情報と情報技術 等に関する基礎的な 知識と技能	ア タブレット端末の起動や終了、ログイン・ログアウト イ タッチペンを使った手書き入力 ウ カメラ機能を使った写真撮影 エ ファイルの読み込みや保存 オ 「ペイント3D」を使ったお絵描き カ 教材「eペディア」の使い方の導入	ア インターネット上の情報の閲覧・検索 イ キーボードによる文字の入力（1分間に30～40文字程度） ウ フォルダ作成によるファイルの整理 エ 文章や表、グラフを作成するソフト、プレゼンテーションソフトの簡単な使い方の導入 オ アンケート機能を使ったアンケートの作成	ア メール等による文字の送受信の仕方 イ キーボードによるローマ字入力（1分間に50～60文字程度） ウ フォルダ作成によるファイルの整理 エ 目的に応じたアプリケーションの選択と操作 オ ビデオ会議ソフトの活用	ア キーボードによる十分な速さで正確なローマ字入力（1分間に60～70文字程度） イ クラウドに集約した操作作業 ウ 目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作 エ 統計的な情報を整理するソフトの使い方
2. 問題解決・探究に 関する情報活用能力 の育成	キ 身近なところから様々な情報を収集する方法の理解 ク 簡単な図や表などを用いた情報の整理の方法の理解 ケ 整理してまとめた情報を表現する方法の理解 コ 紙の資料やタブレット端末を活用した簡単な発表の仕方の理解	キ 図表や資料等による基本的な情報の収集の方法の理解 ク 目的に応じた表やグラフを用いた情報の整理の方法の理解 ケ 複数の表現手段を組み合わせて表現する方法の理解 コ 相手と目的を意識したプレゼンテーションの方法の理解	キ 図表や表、図等による情報の収集と整理の方法の理解 ク 目的に応じた表やグラフなどを用いた情報の整理の方法の理解 ケ 複数の表現手段を組み合わせて表現する方法の理解 コ 相手とのやりとりを含む効果的なプレゼンテーションの方法の理解	キ 遠隔ネットワークなどからの効果的な情報の収集と整理の方法の理解 ク 表やグラフを用いた統計的な情報の整理の方法の理解 ケ 目的や意図に応じて、情報を統合して表現する方法の理解 コ Webページ、SNS等による発信・交流の方法の理解
3. 情報で学ぶ・情報 セキュリティなどにつ いての理解	サ 人の作った物を大切にすることや、他者には伝えていけない情報があること、理解 シ コンピュータを利用する際の基本的なルールへの理解	コ 自分の情報や他人の情報の大切さの理解 サ 生活の中で必要とする基本的な情報セキュリティへの理解	コ 情報に関する自分や他者の権利の理解 サ 情報を守るための方法の理解	ケ 情報に関する個人の権利とその重要性の理解 コ 情報セキュリティに関する基本的な対策と対応の理解 サ 情報主権意識を踏まえたルール策定と遵守
4. 問題解決・探究に 関する情報活用能力 の育成 （プログラミングの 理解を含む）	ス 身近な事象から課題を設定する セ 身近なところから情報を集める ソ 身近な事象から情報を取り出し、簡単な図や表、カードなどを用いて、情報を整理することができる タ 調査に活用しながら、図や表、写真を整理し、自分の言葉でまとめることができる チ 紙の資料やタブレット端末を活用し、簡単な発表をすることができる ツ 情報活用を振り返り、その長さに気付くことができる テ 問題解決の流れを手順を考えたうえで、発表することができる	シ 日常の事象から課題を設定する セ 図表や資料等から情報を収集する ソ 図表や資料等から情報を収集し、表やグラフ、シンキングツールなどを用いて、目的に応じて情報を整理することができる タ 複数の課題に必要な情報を収集し、活用したり、活用をしながら、効果的に情報を整理することができる チ 複数の表現方法を組み合わせ、聞き手とのやり取りを含めて、効果的にプレゼンテーションをすることができる ツ 問題解決の手続きを順次、繰り返し、分岐を組み合わせて行うことができる テ 問題解決の手続きを順次、繰り返し、分岐を組み合わせて行うことができる	シ 地域や社会に目を向けて課題を設定する セ 図表や表、図等から情報を収集する ソ 図表や表、図等から情報を収集し、シンキングツールなどを用いて、目的に応じて情報を整理することができる タ 複数の課題に必要な情報を収集し、活用したり、活用をしながら、効果的に情報を整理することができる チ 複数の表現方法を組み合わせ、聞き手とのやり取りを含めて、効果的にプレゼンテーションをすることができる ツ 問題解決の手続きを順次、繰り返し、分岐を組み合わせて行うことができる テ 問題解決の手続きを順次、繰り返し、分岐を組み合わせて行うことができる	サ 現状を把握し、現在の状況や問題点を明らかにしながら課題を設定する シ 目的や状況に応じて情報を収集する セ 目的や状況に応じて統計的に整理し、効果的に情報を整理することができる ソ 複数の課題に必要な情報を収集し、活用したり、活用をしながら、効果的に情報を整理することができる タ 複数の表現方法を組み合わせ、聞き手とのやり取りを含めて、効果的にプレゼンテーションをすることができる チ 複数の表現方法を組み合わせ、聞き手とのやり取りを含めて、効果的にプレゼンテーションをすることができる ツ 問題解決の手続きを順次、繰り返し、分岐を組み合わせて行うことができる テ 問題解決の手続きを順次、繰り返し、分岐を組み合わせて行うことができる
5. 問題解決・探究に 関する情報活用能力 の育成 （情報セキュリティ などについて）	ト 課題に関する情報を集めようとしている情報の活用を振り返り、よさを集めようとする ニ 人のつくったものを大切に、他者に伝えることができる ハ コンピュータを利用する際の基本的なルールを守って活動することができる ニ 情報や情報技術を上手に活用しようとする	ト 課題に対する情報活用のつながりを見つめようとする ニ 自分の情報や他人の情報の大切さを認識し、尊重しようとする ハ 個人情報の取扱いに注意したり、相手のことを考えたりする ニ 情報や情報技術を上手に活用しようとする	ト 情報を積極的に活用しようとしている ニ 情報に関する自分や他者の権利があることを認識し、尊重しようとする ハ 個人情報の取扱いに注意したり、その重要性を認識しようとする ニ 情報や情報技術によりよい生活や社会づくりに活かそうとしている	ト 事象を情報とその結び付きの視点から捉えようとする ニ 情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする ハ 個人情報の取扱いに注意したり、その重要性を認識しようとする ニ 情報や情報技術によりよい生活や社会づくりに活かそうとする



発達段階に応じた着実な育成

一台端末を使って作成したクイズを
みんなの掲示板で出題育成した情報活用能力を
発揮する場面の提供

- 児童生徒の発達段階に応じた育成状況の目安とする。
- 教師が情報活用能力の育成に関する指導の改善・充実の目安とする。
- 児童生徒が情報活用能力について振り返り、課題をもつ。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立紫波東小学校【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成②

情報活用能力チェック表

紫波町立紫波東小学校

小1・2年生

情報活用能力チェック表 (紫波東GIGA 1年

2 がっきのふりかえりをして、3 がっきにつなげましょう。

4. タブレットで、つくったぶんしょうやえをほぞんしたり、よみこんだりすることができますか。

- ☐ できる
- ☐ どちらかといえばできる
- ☐ どちらかといえばできない
- ☐ できない

5. タブレットの「ペイント3D」や「eライブラリ」のつかいかたがわかりましたが。

- ☐ わかった
- ☐ だいたいわかった
- ☐ あまりわからない
- ☐ わからない

年間を通して、前年度と比較して成長と課題を把握

情報活用能力チェック表の質問項目（全17問から抜粋）抽出：小学校4年生～小学校6年生児童 ※積極肯定「当てはまる」を選んだ児童の割合	R5	R6	比較
知りたいことを調べたり、調べたことを発表したりする活動を振り返り、これからの課題を考えることができましたか。	50%	52%	+2
タブレットを自分の学習を深めたり、生活をよりよくしたりするために進んで使うことができたか。	73%	81%	+8
タブレットを使う時のきまりや約束を守ることができたか。	91%	88%	-3

児童の振り返り（記述）

- ・自分なりの方法で解決をしたい。
- ・相手が見て分かりやすい資料を作れるようになりたい。
- ・自分でアプリを選んで、調べたことをまとめたり発表したりしたい。
- ・発表などをするとき、相手に伝わるように発表したい。

○児童が自分の課題を把握し、目標をもつことができるように、学期ごとに振り返りを行う

○教師は、「情報活用能力チェック表」から学習状況を把握し、授業改善につなげるために活用。

子供たちの学習状況や思いを受け止め、授業改善につなげる